

アジアでがんを生き延びる

東京大学全学研究科横断型教育プログラム「日本・アジア学」
科目コード：4990180 GII-WS6119L1 31M220-1350S 31D220-1350S
講義名：アジアでがんを生き延びる(地域文化研究特殊研究III)
「日本・アジア学」教育プログラムは、文系・理系を問わず、
激動するアジアを広く、そして深く知ることができるカリキュラムです。

私たちは今までにない時代に生きている
急増するがんはアジアの今を映し出す鏡で
あるが、コロナという苦難は医療と社会の
ありようそのものの弱さをあぶり出した
いまあらためて問いたい
人類がやまいを抱えて生き延びるとは？
がんを通してアジアの未来をみつめる



担当教員:東京大学大学院情報学環・学際情報学府
総合癌研究国際戦略推進寄付講座 特任教授 赤座 英之
特任講師 河原ノリエ

夏学期 WEB授業 | オンデマンド | 火曜日 5限 16:50-18:35

配信日程

期限内公開(詳細はUTAS 参照)

2単位
再履修可能



4/21

越境する知—文理複眼

Cross boundary study

吉見俊哉 東京大学情報学環・学際情報学府教授



5/12

がんの自然誌—ゲノムと時間

Natural history of Cancer

中村桂子 JT生命誌研究館名誉館長
増井 徹 慶應義塾大学特別招聘教授



5/19

アジアの鏡としてのがん

Cancer as a mirror

赤座英之 東京大学情報学環・学際情報学府特任教授



5/26

がん患者ケアがつなぐもの

Lesson of Japanese cancer patient care for Asia

垣添忠生 日本対がん協会会長



6/2

民族疫学—疫学研究のダイナミズムと

研究方法の複雑性 Ethnoepidemiology

田島和雄 三重大学名誉教授



6/19

がんと腸内細菌

Environmental protection of Cancer

服部幸應 学校法人服部学園理事長

赤座英之 東京大学情報学環・学際情報学府特任教授



6/16

医療人類学から読み解くアジアのがん

Medical anthropology in Asian Cancer

波平恵美子 お茶の水女子大学名誉教授



6/23

アジア健康構想と抗がん剤開発

Cancer drug development in Asia Health Initiative

近藤達也 一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 理事長



6/30

がん研究とアジア

Cancer research in Asia

中釜 斎 国立がん研究センター理事長



7/7

医療の桃源郷は存在しうるのか—アジアの

がんと健康の経済学

Cancer health Economy in Asia

井上 肇 国立国際医療研究センター(NCGM)企画戦略局長



7/14

アジアの研究開発能力と公的研究費

Asian Research Power and Public Research funding

岩崎 甫 AMED革新的医療技術創出拠点プロジェクト
プログラムスーパーバイザー



7/21

がんという病の地政学—がんはグローバル

ヘルスアジェンダになりうるのか

Cancer in Global context

河原ノリエ 東京大学情報学環・学際情報学府特任講師



東京大学
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Network for Education and Research on Asia

詳しくは
www.siccn.org

*状況に応じて授業の順番や講師の変更ありますのでUTASで確認おねがいします。

講義への
問い合わせ norie.kawahara@siccn.org
08050397646 河原ノリエ